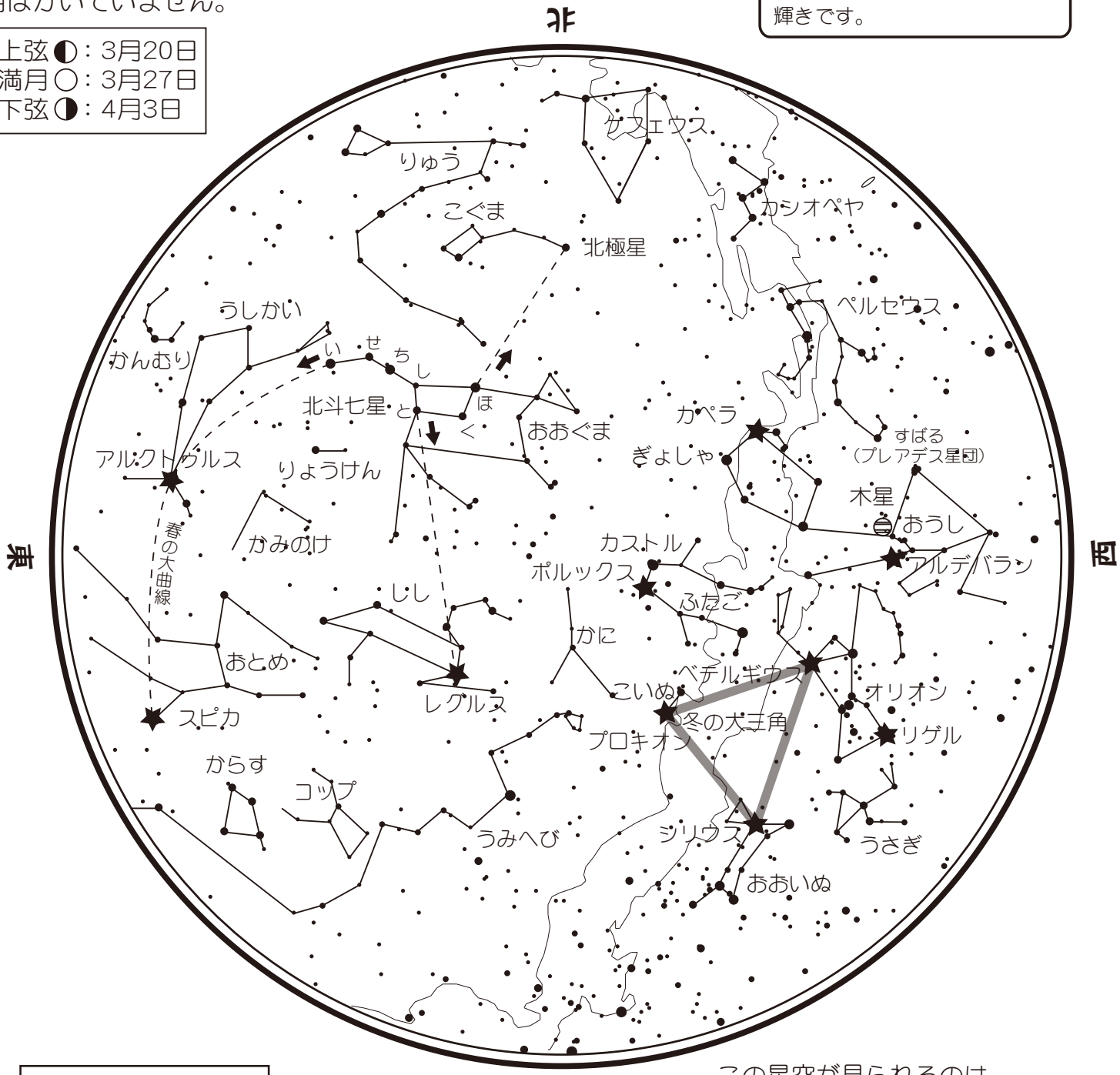
★姫路で見る3月後半の星空★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆木星を見よう☆
午後9時頃、西の空に見えます。
一等星よりも明るい−2等級の輝きです。

上弦◐：3月20日
満月○：3月27日
下弦◑：4月3日



2013 SPRING

この星空が見られるのは
2013年3月20日午後9時頃
4月5日午後8時頃です

西の空に見える「冬の大三角」は、オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオン、おおいぬ座のシリウスで完成です。二匹の犬を連れた狩人オリオンが向かい合っているのは、おうし座です。アルデバランと太陽系の惑星「木星」の輝きが目を引きます。オリオンとおうしの勝負をそばで見ているのが、ふたご座とぎょしゃ座です。ふたご座は、二等星カストルと一等星ポルックスの並びが目印です。ぎょしゃ座はカペラと４個の星が五角形を作っています。

冬の星座とは変わって、東の空には春の星座が見えます。七つの星を結んでできるひしゃくの形「北斗七星」が星座の場所を教えてくれます。水をすくう器の「ほ」と「く」の星を線でつないでのばすと、北の方角を示す「北極星」が見つかります。「と」と「し」の星からはしし座の一等星レグルスが見つかります。持ち手にあたる「しちせい」の星をつないで描く「春の大曲線」は、うしかい座のアルクトゥルスとおとめ座のスピカを探す目印です。